

2023年

出雲市の主なできごと

今年も、いろいろなことがありました

日本遺産「日が沈む聖地出雲」 認定継続が決定



7月14日、文化庁から、日本遺産「日が沈む聖地出雲～神が創り出した地の夕日を巡る～」の認定継続の決定を受けました。

認定エリアでは、日御碕に大型宿泊施設やグランピング施設が、湖陵・多伎エリアには宿泊物販の複合型リゾート施設がオープンするなど、民間事業者による整備が進みました。

今後も官民一体となって多様なコンテンツの造成、関連商品の開発販売など「日が沈む聖地出雲」を活用した観光振興に取り組んでいきます。

灯台ワールドサミット出雲市で初開催



11月3日、参観灯台を有する市町村が連携して開催する「灯台ワールドサミット」が出雲市で初めて開催されました。神門通りでのパレードや出雲日御碕まるごとマルシェ、ワールドサミット

&出雲の地酒マルシェも開催され、市内外から多くの観光客が訪れました。

出雲日御碕灯台は、国の重要文化財に指定されており、今後も出雲市の歴史的観光資源として活用していきます。

新型コロナウイルス感染症が 5類移行

5月8日、世界的に猛威を振るった新型コロナウイルス感染症が5類へと変更になり、これまで開催できなかった各種行事などが再び動き出し、笑顔と賑わいが戻ってきました。

今後とも、感染状況に応じた医療体制の確保や、ワクチン接種等の感染対策を引き続き図りながら、地域経済・地域社会の機能回復を進めていきます。

7月大雨による被害

7月8日からの大雨では、土砂災害警戒情報の発表や線状降水帯の発生により、市内全域に避難指示を発令する事態となりました。お一人の方がお亡くなりになったほか、市内各地で河川の氾濫による道路冠水や家屋の浸水、土砂崩れの発生など、多大な被害をもたらしました。

応急対応や復旧活動にあたっては、地域住民や消防団、災害ボランティアをはじめ、多くの皆さまに大変ご尽力いただきました。

妙見一畑山線の道路崩落(小境町)▶



市のイメージカラー 「トキ色」を指定！



写真提供：環境省

トキの羽の色「淡い桃色」を市のイメージカラーに指定しました。市の印刷物や建物のアクセントカラーに活用しています。

出雲市は本州においてトキの野生復帰をめざす里地(放鳥候補地)に選定されており、「トキも人も育つまちへ」を合言葉に、トキをシンボルとした環境にやさしいまちづくりを進めています。

※このページはトキ色でデザインしています。

「株式会社People Cloud」設立 ～コワーキングスペース 「Izumonomad」オープン～

5月23日、海外の高度IT人材の出雲市への移住と市内企業への紹介により、市内IT企業の競争力強化と国際化を目的とした官民連携企業「株式会社People Cloud」を設立しました。

11月7日にパルメイト出雲1階にオープンしたコワーキングスペース「Izumonomad」を拠点に、人が企業を呼び、企業が人を呼び込む好循環を生み出すための交流事業やマッチング支援を行っていきます。



NPO法人ミライビジネスいずも設立

4月3日、市内で産業支援、企業支援に取り組む新たな組織「NPO法人ミライビジネスいずも」が設立されました。

ものづくり技術の向上をはじめとした人材育成支援や販路拡大、創業・事業承継支援のほか、新事業展開などの取組に関する事業を行い、企業の課題解決や持続的発展を支援していきます。





出雲神話まつり 4年ぶり2日間開催

8月12日、4年ぶりに出雲盆踊りを開催し、くにびき中央通りを約650人が練り歩き、中心商店街での夏まつりやパルメイト広場での地ビールイベントなどで、会場は約2万人の来場者で賑わいました。

また、8月20日には大津神立河川敷公園で花火大会を開催し、約4万人の来場者に出雲の夏の夜を彩る色鮮やかな大輪の花火を楽しんでいただきました。

フィンランド共和国カラヨキ市 友好姉妹都市提携20周年

出雲市とフィンランド共和国のカラヨキ市が友好姉妹都市を提携して今年で20周年を迎えました。

11月10日～13日まで、カラヨキ市のミーカ・ヘイッキラ議長ご夫妻、ユッカ・プロスカリ市長ご夫妻が出雲に滞在され、11日には記念植樹や式典・祝賀会を開催しました。これまで積み上げてきた交流に感謝し、今後の友好関係の発展について話し合いました。



友好姉妹都市提携20周年記念式典・祝賀会
www.karakoyokimunicipality.fi/20-anniversary

オリジナル婚姻届 & 保存台紙「出雲婚」発売



ご結婚されるお2人の門出をお祝いするため、「縁結びのまち出雲」らしいデザインの婚姻届と保存台紙のセット「出雲婚」を作成し、1月26日から販売を開始しました。

出雲河下港の新沖防波堤が完成



島根県が平成20年から整備を進めていた新沖防波堤がこのほど完成しました。防波堤の延長は310mにも及び、これにより港内の静穏度が向上し、年間を通じた船の荷役業務を安定させるものです。

出雲河下港振興会が策定した出雲河下港振興ビジョンをもとに港湾の利活用をすすめ、県東部の物流・防災の拠点としてさらなる地域の発展をめざします。

ディオッサ出雲FC なでしこリーグ2部昇格!

11月に行われた「なでしこリーグ2部入替戦(全3戦)」で、ディオッサ出雲FCが3位となり、これにより2部への昇格が決定しました。この10年間、市民の皆さまをはじめ多くの方々の応援に支えられ、実に9度目のチャレンジで念願の2部昇格の切符を手に入れることができました。

新たなステージでのディオッサ出雲FCのさらなる活躍を期待しています。



大相撲出雲場所 4年ぶりに開催

10月26日、大相撲出雲場所が4年ぶりに開催され、会場となった出雲ドームは、約5,000人の皆さまに埋め尽くされ、多くの笑顔と歓声につつまれました。

当日は、出雲市出身の立行司 式守伊之助さんや出雲市出身の力士 琴布野さんをはじめ多くの力士にお越しいただき、大いに盛り上がりました。



出雲ドーム2000人の吹奏楽から 「かみあり吹奏楽フェスタ」へ

昨年、「出雲ドーム2000人の吹奏楽」は第30回の記念大会を迎えたことから、より一層魅力的なイベントとなるよう、今年、「出雲ドームかみあり吹奏楽フェスタ」に名称を改めました。11月4日に、ゲストとして大阪府立淀川工科大学吹奏楽部の皆さまをお迎えし、盛大に開催することができました。



出雲の中学生が全国の舞台で活躍

全国中学校軟式野球大会で斐川西中学校がベスト4、また、全日本吹奏楽コンクール全国大会に中国地区代表として出雲から第一中学校、第三中学校、大社中学校の3校が出場するなど、文化・スポーツの分野で、出雲の中学生が全国の舞台で躍動する一年となりました。

文化・スポーツにおける主な活躍

- 福田大和さん(平田高校出身) 柔道世界ジュニア選手権柔道男子66kg級優勝、全日本ジュニア体重別選手権男子66kg級 優勝
- 三木拓也さん(出雲市出身) テニス車いすの部男子ダブルス ウィンブルドン選手権 準優勝、全米オープン 準優勝
- 岡田卓也さん(出雲市出身) パラクライミング・ワールドカップ ソルトレークシティー大会 銅メダル、インスブルック大会 銀メダル、世界選手権(スイス・ベルン) 3位
- 高野颯太さん(浜山中学校出身) 東京ヤクルトスワローズ入団

- 伊藤蒼唯さん(出雲工業高校出身) 箱根駅伝駒沢大学・総合優勝、6区・区間1位
- 出雲農林高校 全日本ジュニア選手権 男子カナディアンフォア200m 優勝
- 飛田統羽さん・立花賢太郎さん(出雲農林高校) 日本カヌースプリント 男子カナディアンペア500メートル優勝、1000メートル優勝
- 飛田統羽さん(出雲農林高校) 日本カヌースプリント 男子カナディアンシングル100メートル優勝
- E-WING出雲(社会人サッカークラブチーム) 全国クラブチームサッカー選手権大会 優勝
- ゲートボールチーム「伊野」ねんりんピック愛媛のえひめ 優勝